

ジストニアについて

東洋鍼灸院 田中俊男

はじめに：ジストニアの発生機序や治療薬、DBSに関しては他書を参考にして頂きたい。
当院で出来るジストニアの検査法に関して発表してみたい。

- 検査指標：
1. 手のアセチルコリン
左右差
500 μ g以下の場合
温度差
 2. 頭部(特に淡蒼球)のマイナス
頭のサイトメガロウイルス
患部のアセチルコリン
 3. 歯周病菌との関係
gingivalis、AACの関係
 4. 頸椎の状態
C5-7の異常
 5. 前腕と肩甲骨の動き
患側と指の温度差
腋窩神経の興奮
 6. 薬剤の適合性
アーテンその他の適量
疎経活血湯

- 治療法：
1. youtubeより
http://www.youtube.com/watch?v=WdG_Uqy3zcs&list=UUDBCgPrYNL_GLL5dW_R6sXQ&index=11&feature=plcp
 2. 屈筋伸筋制御
 3. 11円療法(銅とアルミ)
 4. ウィルス対策
 5. Drug uptake enhancement methods
 6. 噛み合わせ



	アセチルコリン
第1指	1200 μ g
第2指	200 μ g
第3指	600 μ g
第4指	1200 μ g
第5指	1200 μ g